



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.3

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川和高校仮設校舎新築工事	階数	地上2F
建設地	横浜市都筑区川和町2226-1 外	構造	S造
用途地域	第一種低層住居専用地域、指定無	平均居住人員	480 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2017年7月 竣工	評価の実施日	2019年12月15日
敷地面積	2,339 m ²	作成者	兼行 恵美子
建築面積	1,194 m ²	確認日	2019年12月20日
延床面積	2,188 m ²	確認者	安井 克昌

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 100%

③上記+②以外の 100%

④上記+ 100%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.3

LR のスコア = 2.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.5

3 設計上の配慮事項

総合		その他
当敷地は横浜市営地下鉄グリーンライン川名駅北約1Kmの住宅街に位置している。設計に際し、計画上の配慮としては近隣を含めた環境空間を壊さずに、いかに環境空間にマッチするか配慮した。(外観・建築物の規模等)		特になし
Q1 室内環境 温熱環境に関しては、一般的なレベルで断熱材を施工する。光・視環境に関しては、特に配慮はしていません。	Q2 サービス性能 特になし	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 省エネルギーに関しては、照明機器・照明器具を省エネルギー使用の製品を使用しています。	LR2 資源・マテリアル 水資源・再生性資源の活用に関しては、特に環境への配慮はしていません。汚染物質に関しては、空調機器はフロン等の汚染物質は使用しません。	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



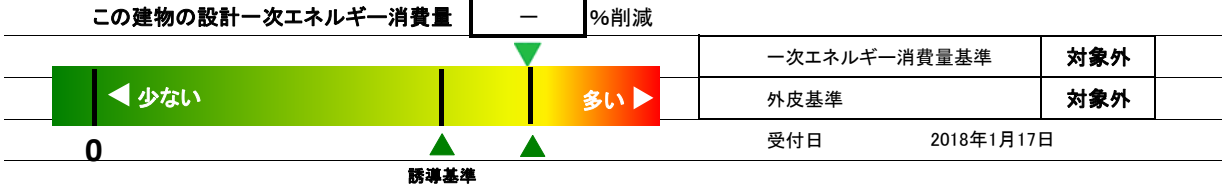
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **川和高校仮設校舎新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 -**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①天井・壁に断熱材を使用しています。
- ③冷暖房機はCOPの高い機器を使用します。
- ③照明機器はLED照明機器を使用します。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑩教室の昼光率は4.46%です。
- ⑪建築物の用途が学校なので全体は禁煙とします。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫教室天井高さは3m確保します。
- ⑫最少階高は3.776mです。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

- ⑭空地率は48.93%です。
- ⑭用途が学校なので舗装面積率は0.00%です。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 2**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

特になし。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

特になし。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入
